報告書の記載及び提出上の留意事項（処分業者）

１　報告対象者

令和４年度中（令和４年４月１日から令和５年３月３１日までの間）

　　に宇都宮市の産業廃棄物処分業又は特別管理産業廃棄物処分業の許可を

受けていた者

２　報告対象となる産業廃棄物

令和４年度中において，宇都宮市内に所在する中間処理施設又は

最終処分場で処理(処分)した産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物

３　提出する報告書

【共通】

* 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処分業実績報告書の提出について

（様式第６号）

※　産業廃棄物処分業及び特別管理産業廃棄物処分業の両方の許可を

有する場合，上記様式第６号は両方の内容を併記してください。

【産業廃棄物処分業者】

* 産業廃棄物処分業実績報告書（様式第７号）
* 産業廃棄物処分業実績報告集計表（様式第８号）

【特別管理産業廃棄物処分業者】

* 特別管理産業廃棄物処分業実績報告書（様式第９号）
* 特別管理産業廃棄物処分業実績報告集計表（様式第１０号）

※　処理実績がない場合は，様式第６号の「実績なし」に○を付けて，

必ず提出してください。

４　提出部数

　　各１部

◆　報告書の記載方法について

１　処分業実績報告書の提出について（様式第６号）

※　当該様式を表紙として添付してください。

(産業廃棄物・特別管理産業廃棄物共通)

（１）「報告年月日」欄

　　報告書提出日を記載してください。

（２）「報告者」欄

　　　住所，氏名（法人名），連絡先，担当者名を記載し，必ず押印してください。

（３）「許可内容」欄

　　　産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処分業（両方の許可を有している者は共に）の許可年月日及び許可番号について記載してください。

（４）「処分実績の有無」欄

　令和４年度の実績に応じて，｢実績あり｣又は｢実績なし｣に○を付けてください。

（５）「提出書類」欄

　　　提出する報告書について○を付けてください。

２　廃棄物処分業実績報告書（様式第７号・第９号）

令和４年度中において，実際に処分（中間処理・埋立処分）した廃棄物の量を，委託者別，処分方法別，委託者別に記載してください。

（１）「産業廃棄物の種類」の欄

　　【産業廃棄物】

燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・動物系固形不要物・ゴムくず・金属くず・ガラスくず，コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・動物のふん尿・動物の死体・ばいじん・１３号廃棄物　の区分により記載してください。

【特別管理産業廃棄物】

感染性・廃ＰＣＢ・ＰＣＢ汚染物・下水汚泥・鉱さい・廃石綿等・廃油・廃酸・廃アルカリ・汚泥・燃え殻・ばいじん　の区分により記載してください。

※　注意事項

①　有価物や一般廃棄物は記載しないでください。

　②　廃自動車や建設系混合廃棄物などの場合については，上記の種類別に按分して内訳を記載してください。

　　　　　**⇒｢○○混合物｣，｢廃自動車｣などの記載は不可**

（２）「特定有害」欄（特別管理産業廃棄物　様式第９号のみ）

　　　処分した特別管理産業廃棄物が特定有害産業廃棄物（別添表参照）に該当する場合には○を付けてください。

（３）「委託者情報」欄

委託者とは，報告者（処分業者）に廃棄物の処分を委託した者を指し，排出事業者から委託を受ける場合と処分業者から再委託を受ける場合とがあります。

　　ア「氏名又は名称」

　　　　　委託者の氏名又は名称を記載してください。

　　イ「排出事業場」

　　　　　当該廃棄物が排出された場所の所在地を記載してください。

　　ウ「受託量」

　　　　　「ｔ」単位で記載してください。

（４）「処分情報」欄

　ア「処分方法」

　　　　破砕，焼却，埋立，中和など，具体的な処分方法を記載してください。

　イ「処分量」

「ｔ」単位で記載してください。

　ウ「処分後量」

* 処理後の廃棄物だけでなく有価物の量も含めて記載してください。
* 「ｔ」単位で記載してください。

　エ「処分場所」

　　　　中間処理施設又は最終処分場の設置場所の住所を記載してください。

（５）「受託者情報」欄

報告者が処分を行った廃棄物の残さ物について，その処分を受託した者の情報を記載してください。

　ア「許可番号」

　　　　処分を委託した業者の許可番号を記載してください。

イ「氏名又は名称」

　　　　受託者の氏名又は名称を記載してください。

　ウ「住所」

　　　　当該産業廃棄物が委託後処分される場所の所在地を記載してください。

　エ「委託内容」

　　　　破砕，焼却，埋立，売却等，具体的な処分方法を記載してください。

　オ「運搬量」

* 報告者が処分を行った産業廃棄物の残さ物について，その処分を委託した量を記載してください。
* 「ｔ」単位で記載してください。

３　廃棄物処分業実績報告集計表（様式第８号・第１０号）

この集計表は，先の廃棄物処分業実績報告書（様式第７号・第９号）に記載した処分量を，廃棄物の種類別，委託者の住所別，処分方法別，受託者の住所別，委託内容別に集計した結果を記載するものです。

（１）「許可の種類」欄

「廃棄物処分業」と記載し，破砕，焼却，埋立，中和など，具体的な処分方法を記載してください。

（２）「許可年月日」･「許可番号」欄

　　　それぞれ許可証で確認の上記載してください。

（３）「廃棄物の種類」欄

　　　　２ページ２（１）と同様です。

（４）「委託者情報」欄

宇都宮市内の場合には｢宇都宮市｣，宇都宮市以外の栃木県内の場合には｢栃木県｣と記載してください。また栃木県外の場合はその都道府県名を記載してください。

（５）「処分情報」欄

　ア「住所」

　　　　当該廃棄物が委託後処分される場所の所在地を記載してください。

　イ「処分方法」

　　　　中間処理，最終処分の２区分で記載してください。

　ウ「処分量」

「ｔ」単位で記載してください。

　エ「処分後量」

・　処理後の廃棄物だけでなく有価物の量も含めて記載してください。

・　「ｔ」単位で記載してください。

（６）「受託者情報」欄

　ア「住所」

当該廃棄物が委託後処分される場所の所在地を記載してください。

　イ「委託内容」

　　　　最終処分，売却の２区分で記載してください。

ウ「委託量」

・　報告者が処分を行った廃棄物の残さ物について，その処分を委託した量を記載してください。

・　「ｔ」単位で記載してください。

４　廃棄物の取扱量の単位

・　実績報告書に記入する廃棄物の取扱量は，**全て「ｔ」単位で報告してくだ**

**さい。**

なお，取扱量を㎥により管理していて，重量への換算係数を把握していない場合には，**別紙を参考にして「ｔ」単位に換算してください。**

・　数値については，取扱量を小数点以下第２位まで記載してください。

（カンマ，小数点をはっきり記載してください。）

**別　紙**

参考：産業廃棄物の体積（立方メートル）から重量（トン）への換算係数（参考値）

|  |  |
| --- | --- |
|  **産 業 廃 棄 物 の 種 類**  | 換算係数 |
| 1 | 燃え殻  | 1.14 |
| 2  | 汚泥  | 1.10 |
| 3  | 廃油  | 0.90 |
| 4  | 廃酸  | 1.25 |
| 5  | 廃アルカリ  | 1.13 |
| 6  | 廃プラスチック類 | 0.35 |
| 7  | 紙くず  | 0.30 |
| 8  | 木くず  | 0.55 |
| 9  | 繊維くず  | 0.12 |
| 10 | 食料品製造業，医薬品製造業又は香料製造業において原料として使用した動物又は植物に係る固形状の不要物  | 1.00 |
| 11  | とさつし，又は解体した獣畜及び食鳥に係る固形状の不要物  | 1.00 |
| 12  | ゴムくず  | 0.52 |
| 13  | 金属くず  | 1.13 |
| 14 | ガラスくず，コンクリートくず（工作物の新築，改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず  | 1.00 |
| 15  | 鉱さい  | 1.93 |
| 16 | がれき類 | 1.48 |
| 17  | 動物のふん尿  | 1.00 |
| 18  | 動物の死体  | 1.00 |
| 19  | ばいじん  | 1.26 |
| 20 | 産業廃棄物を処分するために処理したものであって，前各号に掲げる産業廃棄物に該当しないもの  | 1.00 |
| 21  | 建設混合廃棄物  | 0.26 |
| 22  | 廃電気機械器具  | 1.00 |
|  **特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類** | 換算係数 |
| 23  | 感染性産業廃棄物 | 0.30  |
| 24  | 廃石綿等  | 0.30  |

※１　上記の換算係数は１立方メートル（㎥）当たりのトン数（t/㎥）である。この数字は平成１８年１２月２７日付環廃産発061227006号に示された参考値である。

※２　特別管理産業廃棄物のうち，感染性産業廃棄物及び廃石綿等以外については，上記に該当する品目の換算係数に準拠する。